

環境まちづくり実施報告書

様式3

平成 28 年 3 月 24 日 (2016 年)					
吹 田 市 長 あて		住所 大阪府大阪市西区立売堀3-3-1			
※注1 事業所		氏名 小西咲株式会社 代表取締役 小西 久治		(印)	
		電話 (06) 6532 - 4724			
事業の名称		小西咲株式会社 工場建設工事			
対象事業区域		吹田市 幸町1999番1、1999番6、2000番、2001番、2010番1			
※注1 設計・代理者		住所 大阪府大阪市中央区備後町1-5-2大和ハウス備後町ビル3階 氏名 大和リース株式会社大阪本店一級建築士事務所 長谷川 佳紀 電話 () - (担当者:)			
※注1 工事施工者		住所 大阪府大阪市中央区備後町1-5-2大和ハウス備後町ビル3階 氏名 大和リース株式会社大阪本店 本店長 田村 謙二 電話 (06) 6229 - 7905			
事業予定期間		平成 27 年 (2015 年) 11 月 25 日 から 平成 28 年 (2016 年) 3 月 31 日 まで			
事業の規模			計画部分	既存部分	合計
		対象事業面積	2,268.46 m ²	m ²	2,268.46 m ²
		建築面積	862.71 m ²	m ²	862.71 m ²
		延べ面積	808.07 m ²	m ²	808.07 m ²
		最高の高さ	12.57 m	m	
		構造・階数	鉄骨 造・一部 造		
			地上 1 階・地下 階		
事業の目的・内容		区分	☒ 新築 ☐ 増築 ☐ 改築 ☐ 新設 ☐ 増設		
		☐ 土地区画整理事業 ☐ 市街化再開発事業 ☐ 宅地造成 ☐ 開発行為事業(目的:) ☒ 建築物の新築又は増改築の事業			
		☒ 工場・事業場 ☐ 住宅・共同住宅(戸) ☐ 商業施設 ☐ 事務所 ☐ 公共的建築物 ☐ その他(:)			
		☐ 駐車場又は資材置場の新設又は増設の事業 ☐ その他()			
環境まちづくりの内容		ガイドライン取組事項チェックリストによる			
添付書類		・ガイドライン取組事項チェックリスト ・工事関連車両通行ルート図 ・その他必要と認める図書			
		受 付 第 号			

注1 法人にあっては、その名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

環境まちづくりの概要(1)

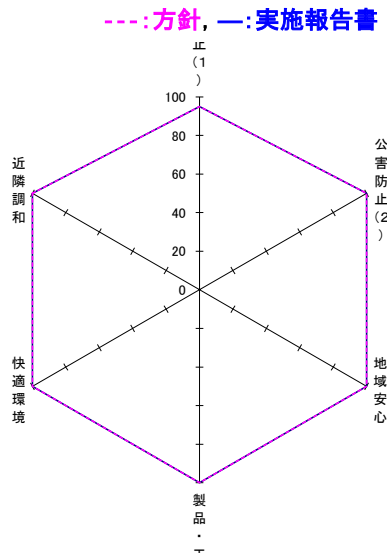
事業者の環境方針	なし
当該事業における環境まちづくり方針	自然環境へ配慮します。 環境関連法規を遵守します。 環境教育を徹底します。 資源の有効活用、リサイクル、省エネに取り組みます。 周辺環境に配慮した工事作業を行います。

1. 実施率と主な実施内容

1-1. 工事中

実施率 97.9 パーセント
(小数点第2位以下切り捨て)

実施した・一部実施したの項目数
該当なしを除いた項目数 = 47 / 48



実施報告書	公害防止(1)	公害防止(2)	地域安心	製品・工法	快適環境	近隣調和
	19	12	5	3	4	4
	20	12	5	3	4	4

方針	公害防止(1)	公害防止(2)	地域安心	製品・工法	快適環境	近隣調和
	19	13	5	3	4	5
	20	13	5	3	4	5

主な実施内容

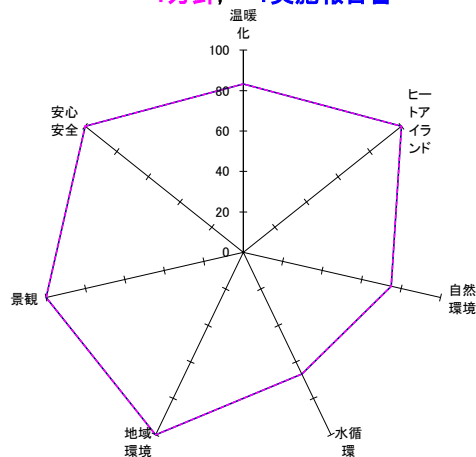
排出ガス、騒音の低減を図るため、アイドリングをしませんでした。
空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転を行いました。
建設資材の搬出入計画において、適切な車種を選定することで車両台数を抑制しました。
クラクションの使用は必要最小限にしました。
建設資材の落下を防止するなど、丁寧な作業を行いました。
建設資材、廃棄物などの場内整理を行いました。

環境まちづくりの概要(2)

1-2. 施設・設備等

実施率	90	パーセント	実施した・一部実施したの項目数	=	27
(小数点第2位以下切り捨て)			該当なしを除いた項目数		30

----:方針, —:実施報告書



実施報告書	地球温暖化	ヒートアイランド	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
	5	1	3	2	10	4	2
	6	1	4	3	10	4	2

方針	地球温暖化	ヒートアイランド	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
	5	1	3	2	12	4	2
	6	1	4	3	12	4	2

主な実施内容

- (1) 省エネルギー・低炭素なエネルギー技術の導入 CO2削減量 10.1 t-CO2/年
導入内容 ※(CO2換算が可能な設備に関して記載ください。)

照明設備にLED照明を採用しました。(36台)

- (2) 緑地面積 緑化率 8.1 % 条例基準分 8.0 %以上

実施内容(緑化率に換算されない緑地(駐車場緑化・ベランダ緑化・花壇など)の面積など)

- (3) 雨水利用 雨水貯留量 0.0 t うち雨水利用量 0.0 t

利用目的 ☐ 植栽水やり ☐ トイレの流し水 ☐ 洗車 ☐ その他

- (4) 上記以外の主な実施内容

塗料は、水生塗料や揮発性有機化合物(VOC)の含有量が低いものを使用しました。
浸透枳を採用し、少しでも雨水抑制を図りました。

環境まちづくりの概要(3)

2. 方針からの変更箇所(変更箇所があれば記入してください。)

項目番号	修正前のチェック内容		修正後のチェック内容
33	実施する		該当なし
55	実施する		該当なし
88	実施する		該当なし
89	実施する		該当なし

3. その他(本ガイドライン記載の取組事項以外に実施する環境まちづくりの取組を記載ください。)

●工事中におけるガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、事業による環境への影響を最小限にとどめるため、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、以下のとおりガイドライン取組事項を実施します。

取 組 事 項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
大気汚染や騒音などの公害の防止します。		
建設機械		
1 低公害型建設機械の使用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	排出ガス対策型、低騒音型や低振動型の建設機械を使用しました。
2 低燃費型建設機械の使用	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	全体工期のなか建設機械の使用期間が2カ月も満たなく、費用対効果を考慮した中、機器価格が高額であり、リース市場においても普及していない為採用致しませんでした。
3 アイドリングの禁止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	排出ガス、騒音の低減を図るため、アイドリングをしませんでした。
4 環境に配慮した運転	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転を行いました。
5 稼働台数の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事規模に応じた効率的な工事計画を立て、稼働台数を抑制しました。
6 工事の平準化	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	一時的に集中して稼働しないよう、工事の平準化を図りました。
7 機械類の整備点検	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	機械類は適切に整備点検を行いました。
工事関連車両		
8 低公害車の使用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	車両で燃費や排出ガス性能のよい車両を使用しました。
9 大阪府条例に基づく流入車規制の遵守	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	大阪府条例に基づく流入車規制を、全ての車両で確実に遵守しました。
10 工事関連車両の表示	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事関連車両であることを車両に表示しました。
11 周辺状況に配慮した走行ルートや時間帯の設定	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事関連車両の走行ルートや時間帯は、周辺道路の状況、住居の立地状況などに配慮して、一般交通の集中時間帯や通学時間帯を避けて9:00以降からとしました。
12 建設資材の搬出入における車両台数の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設資材の搬出入計画において、適切な車種を選定することで車両台数を抑制しました。
13 工事関連車両台数の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	作業従事者の通勤、現場監理などには、徒歩、二輪車、公共交通機関の利用、相乗りなどを奨励し、工事関連の車両台数を抑制しました。
14 土砂の積み降ろし時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	ダンプトラックによる土砂の積み降ろしの際には、騒音、振動や土砂の飛散防止に配慮しました。
15 タイヤ洗浄	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	周辺への土砂粉じん飛散を防止するため、現地でタイヤ洗浄を行いました。

取 組 事 項		実 施 の 有 無		実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
16	ドラム洗浄時の配慮	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	コンクリートミキサー車のドラム洗浄を行う際には、騒音や水質汚濁に配慮し、現場での排水を行いませんでした。
17	場外待機の禁止	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事関連車両を場外に待機させませんでした。
18	クラクションの使用抑制	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	クラクションの使用は必要最小限にしました。
19	アイドリングの禁止	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	自動車排出ガスの低減を図るため、アイドリングをしませんでした。
20	環境に配慮した運転	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転を行いました。
工事方法 騒音・振動等				
21	防音シートなどの設置	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	遮音性の高い仮囲い、防音シートや防音パネルを設置しました。
22	丁寧な作業	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設資材の落下を防止するなど、丁寧な作業を行いました。
23	騒音や振動の少ない工法の採用	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	杭の施工などの際には、騒音や振動の少ない深層混合処理工法を採用しました。
24	近隣への作業時間帯の配慮	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	騒音や振動を伴う作業は、近隣に配慮した時間帯(9:00～17:00)に行いました。
粉じん・アスベスト				
25	解体、掘削作業の配慮	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	掘削作業などの際には、散水を十分に行いました。
26	飛散防止対策	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	土砂などの堆積場で、砂じんが飛散するおそれがあった為、水撒き等の飛散防止対策をしました。
27	アスベストの調査など	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし		解体建物はありませんでした。
28	アスベストの飛散防止措置	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし		解体建物はありませんでした。
水質汚濁・土壌汚染・地盤沈下				
29	濁水や土砂の流出防止	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	道路などへの濁水や土砂の流出を防止しました。
30	塗料などの適正管理及び処分	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	塗料などの揮発を防止し、使用済みの塗料缶や塗装器具の洗浄液は適正に処分しました。
31	土壌汚染物質の拡散防止措置	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし		対象敷地規模は3000㎡未満であり法令対象外でした。

取 組 事 項		実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
32	地盤改良時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	セメント及びセメント系改良剤を使用する地盤改良の時に、六価クロム溶出試験を実施し、土壌や地下水を汚染しないよう施工しました。
33	周辺地盤、家屋などに配慮した工法の採用	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	周辺地盤、家屋などに影響を及ぼすような工事は発生しませんでした。
悪臭・廃棄物			
34	アスファルト溶解時の臭気対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	アスファルトを溶融させる際は、場所の配慮、溶解温度管理など臭気対策を行いました。
35	現地焼却の禁止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	現地では廃棄物などの焼却は行いませんでした。
36	解体時の環境汚染対策	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	解体建物はありませんでした。
37	仮設トイレ設置時の臭気対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	仮設トイレを設置する時に、適切なメンテナンス、設置場所を近隣建物から離隔距離をとるなどにより臭気対策を行いました。
地域の安全安心に貢献します。			
38	地域との連携における事故の防止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	近隣自治会などから地域の交通情報の聴き取りを行い、十分な人数の警備員を配置し、事故防止に努めました。
39	児童などへの交通安全の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	児童や生徒が安全に登下校できるよう、工事現場周辺の交通安全に配慮し、大型車搬入時や歩道工事時には警備員を配置しました。
40	夜間や休日の防犯対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	夜間や休日に工事関係者以外の者が工事現場に立ち入らないよう出入口を施錠するなどの対策を講じました。
41	児童などへの見守り、声かけ	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	登下校中や放課後の児童や生徒の見守り、声かけなどに取り組みました。
42	地域の防犯活動への参加	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	近隣自治会などどと連携し、地域の防犯活動に参加しました。
環境に配慮した製品及び工法を採用します。			
省エネルギー			
43	エネルギー消費の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	エネルギー効率のよい機器の利用などにより、工事中に使用する燃料、電気、水道水などの消費を抑制しました。
省資源			
44	残土発生の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	可能な限り建設発生土は現地での埋め戻しに使用するなど、残土の発生を抑制しました。
45	廃棄物の減量	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	可能な限り資材の梱包などを最小限にして廃棄物を減量しました。
快適な環境づくりに貢献します。			
景観			
46	仮囲い設置時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	仮囲いの設置にあたっては、機能性を確保した上で、景観面にも配慮しました。

取 組 事 項		実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
47	仮設トイレ設置時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	仮設トイレは、近隣住民や通行者に不快感を与えないよう、設置場所などを工夫し、近隣建物から離隔距離をとりました。
周辺環境美化			
48	周辺道路の清掃	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事現場内外を問わず、ポイ捨てを防止し、周辺道路の清掃を行いました。
49	場内整理	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設資材、廃棄物などの場内整理を行いました。
ヒートアイランド現象の緩和			
50	打ち水	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	工事期間は冬季でした。
地域との調和を図ります。			
工事説明・苦情対応			
51	工事内容の事前説明及び周知	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	近隣住民に工事実施前に工事概要、作業工程などを十分説明し、また工事実施も適宜、現況と今後の予定をお知らせし、理解を得るように近隣説明会を行いました。
52	苦情対応	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事についての苦情窓口を設置し連絡先などを掲示するとともに、苦情が発生した際には真摯に対応しました。
周辺の教育・医療・福祉施設への配慮			
53	工事内容の事前説明及び工事計画の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	吹田東小学校、第五中学校などに対して、工事実施前に工事概要、作業工程などを十分説明するとともに施設での行事や利用状況に配慮した工事計画にしました。
54	騒音、振動などの配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	吹田東小学校、第五中学校などに対して騒音、振動、採光などに特段の配慮をしました。
周辺の事業者との調整			
55	複合的な環境影響の抑制	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	近隣で工事が重複するような事はありませんでした。

●施設・設備等に係るガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、事業による環境への影響を最小限にとどめ、また、新たな環境負荷の発生を事前に防止するとともに、地域の環境レベル向上に貢献するため、以下のとおりガイドライン取組事項を実施します。

取 組 事 項		実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
地球温暖化対策を行います。			
56	大阪府建築物の環境配慮制度及び大阪府建築物環境性能表示制度の活用	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	延床面積が2000㎡未満であり、大阪府建築物の環境配慮制度において、当該建築物が対象外の為。
57	高効率及び省エネルギー型機器などの採用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	照明にLEDを使用しました。(36台)
58	再生可能エネルギーの活用	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	事業採算上、再生エネルギーは採用致ませんでした。
59	エネルギー効率の高いシステム及び機器導入の検討	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	空調設備工事は行いませんでした。
60	冷媒漏えい(使用時排出)の防止	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	空調設備工事は行いませんでした。
61	建築物のエネルギー負荷の抑制	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	採光確保の為、明かり窓を設け、照明効率を上げました。
62	長寿命な建築物の施工	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	基本構造の耐久性を高め、長寿命の建築物を施工しました。
63	環境に配慮した製品の採用	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	基礎下や土間下には再生砕石材を使用し、歩道の改修工事に吹田市の灰溶融スラグを利用したインターロッキングブロックを使用しました。
64	製造に要するエネルギーが少ない建設資材の採用	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	歩道の改修工事に吹田市の灰溶融スラグを利用したインターロッキングブロックを使用しました。
ヒートアイランド対策を行います。			
65	ヒートアイランド対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	屋根の折板に日射反射率の高い製品を使用しました。(日射反射率を45%の色番を選定)
自然環境を保全し、みどりを確保します。			
66	動植物の生息や生育への配慮	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	壁面緑化に灌水設備を設け、動植物の生息や生育への配慮を行いました。
67	地域のシンボルツリーの保全	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	前面AS舗装の為、樹木はありませんでした。
68	既存の植生の保全	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	前面AS舗装の為、樹木はありませんでした。
69	生物の生息空間の保全	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	計画地に隣接する緑地はありませんでした。
70	駐車場緑化	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	事業採算上、採用致ませんでした。

取 組 事 項		実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
71	屋上緑化など	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	壁面緑化を工場建屋の西面に設置する防音壁(L=50m)の腰壁(H=1m)に設けました。(50㎡)
72	法面緑化	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	造成工事を行わないため、法面はありませんでした。
73	植栽樹種の選定	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	植栽樹種は、地域の環境に合わせてヒラドツツジを選定しました。
水循環を確保します。			
74	水資源の有効利用	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	事業採算上、採用致しませんでした。
75	雨水流出を抑制する施設の設置	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	雨水浸透枡を13ヶ所設置しました。
76	雨水浸透への配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	雨水浸透枡を13ヶ所設置しました。
地域の生活環境を保全します。			
大気・騒音・振動等			
77	騒音を発生させる設備設置時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	騒音を発生させる設備に該当する換気扇は、低騒音型機器の採用致しました。
78	防音サッシの設置	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	騒音を発生する恐れのある場所には、防音サッシを設置しました。(T-3サッシ)
79	駐車場の配置計画時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	周辺環境への自動車の排気ガスや騒音を防止するため、駐車場の配置は住居に隣接しない計画としました。
80	近隣への悪臭及び騒音の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	近隣への悪臭、騒音を防止するため、建屋東・西面に防音壁を設け、廃棄物は回収日にごみ庫に入れる等配慮しました。
81	ボイラーなどの機器設置時の排出ガス対策	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	ボイラー等の機器の設置はありませんでした。
82	屋外照明や広告照明設置時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	屋外照明は近隣住民に対する光の影響を抑制しました。
83	建築資材による光の影響の考慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建築資材(ガラス)による、太陽光の反射については、設置の際に光の影響を考慮しました。
84	環境に配慮した塗料の使用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	塗料は、水性塗料や揮発性有機化合物(VOC)の含有率が低いものを使用しました。
85	周辺の教育、福祉や医療施設への配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	吹田東小学校、第五中学校などに対して騒音、振動などに特段の配慮をし、工事車両経路にならないようにした。

取 組 事 項		実 施 の 有 無		実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
中高層建築物(高さ10メートルを超える建築物)				
86	日照障害対策	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	日照障害については、建築基準法規制対象外ですが、日影図を作成し、発生する範囲を事前に把握し、近隣住民に説明しました。また、できかぎり軽減を図りました。
87	電波障害の事前把握及び近隣説明	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	電波障害の発生が想定される範囲を、現地調査、机上計算、影響範囲図作成などにより事前に把握し、近隣住民に説明しました。
88	電波障害発生時の改善対策	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし		当計画建物でTV電波の受信障害は生じませんでした。
89	プライバシーの配慮	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし		近隣住民のプライバシーを侵害するおそれがある場所はありませんでした。
景観まちづくりに貢献します。				
90	地域への調和	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	本市の自然条件や風土、歴史の流れのなかで培われた地域の個性を尊重し、地域に調和したものとなるように色彩や形状にしました。
91	景観まちづくり計画の目標と方針に基づいた計画及び設計	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	景観資源の質の向上と地域特性を活かしたまちづくりに資するよう、「景観まちづくり計画」の類型別景観まちづくり計画と地域別景観まちづくり計画の目標と方針に基づき、色彩など配慮した計画と設計を行いました。
92	景観形成に関わるガイドラインや方針に配慮した計画及び設計	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし		景観形成に関するガイドラインや方針のエリア外の為、該当しませんでした。
93	景観形成地区指定の協議	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし		計画区域が1ha未満の為、該当しませんでした。
94	景観形成基準の遵守	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	景観形成基準を順守するよう、景観まちづくりを推進しました。
95	屋外広告物の表示などに関する基準の遵守	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	屋外広告物の表示等に関する基準を遵守し、景観まちづくりを推進しました。
安心安全のまちづくりに貢献します。				
96	歩行者が安全に通行できる空間整備	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし		敷地境界に歩道が整備されている為、該当しませんでした。
97	災害時、緊急時対応のための安心安全に配慮した整備	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工場内にハッチ、バール等の救助用器具を配置し、災害時に活用できるようにしました。
98	防犯対策のための安心安全に配慮した整備	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし		主な出入り口となる工場棟北・南面の開口部を複層ガラスとし、防犯性を高めました。

